

# FD・SD

プログラム番号 2802A

## リーダーセミナーⅠ

### 「主体的な学び」を促進するカリキュラム・デザイン

#### ■講師



佐藤 浩章

(大阪大学全学教育推進機構准教授／教育学習支援センター副センター長)

北海道大学教育学部卒、北海道大学大学院教育学研究科修士課程修了、同博士課程単位修得退学。2002年より愛媛大学大学教育総合センター講師。同教育・学生支援機構教育企画室准教授／副室長、キングス・カレッジ・ロンドン客員研究フェロー等を経て、2013年より現職。

#### ■プログラム概要

日本の大学においては昨今「主体的な学修を促す学士課程教育」への転換が求められています。これは、主体的な学修については、個々の教員の授業レベルにおいて論じるには限界があり、カリキュラムレベルで論じる必要性があることを意味しています。

本セミナーでは、日本高等教育開発とベネッセ教育総合研究所が、全国の国公私立大学 2,376 学科の学科長を対象にして行った、カリキュラムの実態に関する調査の結果を踏まえて、「主体的な学び」を促すカリキュラムの内容、変革プロセス、その課題について学びます。

とりわけ高い関心を集めている、カリキュラムのデザイン方法(どのような内容の科目をどのような順番で並べるのか)について焦点をあてます。

本セミナーでは、レクチャーだけではなく、個人によるチェックシートを使ったワーク、ならびにペア・グループワークを適宜取り入れて、他大学の事例との比較の中で、自大学のカリキュラムの課題を発見し、解決方法を見いだせるようにします。

参考：日本高等教育開発協会・ベネッセ教育総合研究所『大学生の主体的な学習を促すカリキュラムに関する調査報告書(アンケート調査編)』(2013)、『同(ケーススタディ編)』(2014)、ベネッセ教育総合研究所。(事前にお読みいただければ、理解が円滑になります。いずれもベネッセ教育総合研究所のウェブサイトからダウンロードいただけます。)

#### ■主な受講対象

カリキュラム改善に関心のある教職員。特に、管理職、教務委員、FD委員、教務系職員

#### ■本プログラムの到達目標

1. カリキュラム・デザインに関する基本用語(バックワードデザイン、スコープ、シーケンス)について説明できる
2. カリキュラム改革の優良事例を通して、自らの組織のカリキュラムの課題について発見できる

#### ■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成26年8月28日(木)13:00~15:00

会 場 : 高知大学 朝倉キャンパス 共通教育1号館 125番教室

定 員 : 80名